



2023年3月度「はちおうじっ子のコロナに負けるな！応援プロジェクト」ご報告

コロナ禍の影響で、仕事を失ってしまったり、減ってしまったり、或いはご自身、ご家族、こどもたちの罹患等により仕事を休まざるを得なくなり、収入が減ってしまって、食に不安を感じていらっしゃる中学生以下のお子さんのいるご家庭を対象に、食品配送を2020年から行い、今回で7回目、配送世帯は154世帯、290人のこどもたち（15才以下のみ）にお届けすることができました。

今回も皆さまのご寄付のみで実施いたしました。おかげさまで多くの企業、団体、市民の皆さまから、たくさんのご支援をいただくことができました。皆さまのご協力が心から感謝申し上げます。

協力団体

こども食堂ふくろうはうす・ほいっぴ食堂・
お茶の間「民」・有限会社パーゼル洋菓子店

スケジュール

- 3月1日 「はち☆エール」への掲載
市内学童クラブへのチラシ配布
- 3月1日～10日 配送家庭の募集
- 3月19日 第1回配送作業
- 3月26日 第2回配送作業
- 3月28日 配送終了

応募状況

八王子市の一人親向けメールマガジン「はち☆エール」と学童クラブへのチラシ配布を中心に、市民センター等での配布、SNSなどで広報を行いました。

1年ぶりとなる今回の応募数は217世帯、物価高の影響で増えると思っていましたが、昨年3月より27世帯減少しました。フードバンク、こども食堂と繋がりがあがる方、フードバンク八王子えがおさんが同時期に行った食品配送の対象者を除く154世帯に配送させていただきました。

コメントにはやはり物価高で苦しいと書かれている方がとても多いです。育ち盛りのこどもたちには十分食べさせてあげたいという親御さんの想いがひしひしと伝わってきました。

《コメントの紹介》

<p>実質ひとり親（離婚前別居）で、こどもが発達障害、不登校傾向があること、また、同居している要介護5の親の介護等の理由で、十分に働くことができない状況ですが、一人親ではないため、ノーセーフティネット状態で公的な支援が何も受けられず、とても苦しい状況です。</p>	<p>仕事が終わってから、こどものお迎え、家族の食事の買い物、片付け、夕飯作り、お風呂、次の日の準備、寝かしつけ…1人で。毎日座る暇もありません。親も高齢で頼めず、休みの日は何かしらこどもの用事があたり。でも、疲れたなんて言ったらこどもが多いのが悪いと言われるので言えずにいます。もし一回でも届けてもらって、買い物に行かない時間が出来たら、何も考えず少し座って一息つきたいです。</p>
<p>食費、光熱費の高騰が家計を圧迫しています。コロナ感染したことにより収入は減り、進学に向けての準備で出費も増え。なかなか、厳しい状況です。</p>	<p>こどもたち3人も男の子で、成長期で、かなりの量を食べるようになりましたが、野菜やお肉などが物価の高騰で、最低限しか購入することが出来ず、こどもたちの栄養面が心配です。見切り品などで食材を揃えたりしていますが、いつも同じような物ばかりになってしまいがちです。私自身、パート勤務で月によっては、10万行かないこともたまにあり節約節約の毎日です。好きなものを好きなだけ食べさせてあげたい！！想いはあるのですが、経済的な面でかなり厳しいです。</p>
<p>長男が今年の4月から中学生で、色々お金がかかります。就学援助手当もいただいているのですが、制服、カバン、体操着、その他諸々いただいている以上にお金がかかります。小学校では卒業アルバムや卒業記念品などで20,000円も払っています。うちはいらぬと言えないものなので、支払い必須です。大きなお金が出ていくのは本当に厳しいです。</p>	<p>物価が上がっていて、買い物に行っても今まで購入してきたものを買い流る場面が増えてきました。</p>
<p>コロナに続きインフル流行で仕事の収入が半分以下になり借金しながら生活をしているので、こどもの貯金すらできず、光熱費も物価も上がりお先真っ暗で苦しいです。</p>	



食品調達

今回も末日聖徒イエス・キリスト教会様からのレトルトカレー、パスタソース、お菓子などの食品と、鉛筆とノートの文具のご寄付を中心に、企業、団体、市民の皆さまからたくさんのご食品をご寄付いただき実施することができました。

お米は北海道から毎月送ってくださるの個人の方、東京八王子西ロータリークラブ様、八王子市法人会様、毎月2回定期的にくださる市民の方などからのご寄付を使いました。その他、毎月ご寄付くださる企業や市民の方、ファミリーマート様や八王子オーパ様で実施して下さっているフードドライブでご寄付いただいたパスタ、レトルト食品などを少しずつこの配送用にためて、使わせていただきました。「とても多くの人たちが応援しているんだよ」という気持ちを込めて、一つひとつのいただいた食品を詰め込みました。



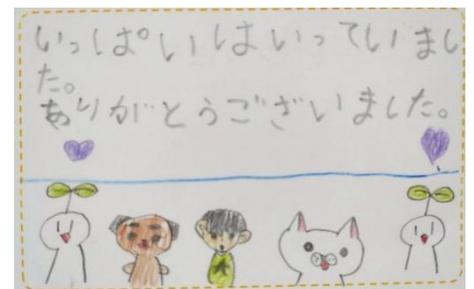
配送作業

今回も 154 箱を3月 19 日、26 日の2日に分けて作業を行いました。ボランティアの皆さんの手助けもあり、スムーズに作業を進めることができました。

アンケートはがき

たくさんのアンケート葉書が戻ってきました！やはり親御さんにはお米が一番！子どもたちにはお菓子と学用品が喜ばれました。

今回も子どもたちが直接「ありがとう」と書いてくれたり、絵を描いてくれた葉書がたくさんありました。全ての葉書に感謝の言葉があり、お子さんが、家族みんなが笑顔になったというコメントも多く、いつも大事にしている「皆が応援している気持ち」が伝わっていると感じ、私たちもあたたかい気持ちになりました。



家で普段の食事に欠かせないものや、子供が楽しく食べてくれるお菓子など、選んで下さったんだなとよく分かる、うれしい詰め合わせでした。送って下さってありがとうございます。

コロナで収入も減ったりと安定しておらず、出産後もあり、とても見かりました。今回初めて応募させていただきましたが、内容も全て使用するお品物はありがたかったです。子供と一緒にかけて、凄く喜んでいました。スタッフの皆様や関係者の方々、本当にありがとうございます！！

元々食費が高く、節約しなきゃ何とかならなくて生活に困る。物価高で節約しても支出が増える状況に困っているところ。子供達の成長や健康維持のため、食べ物は我慢せずに、自身の欲しがるものも必要ものは後回し、という日々でも、今回食品をいただく、何より心の余裕が得ることによって思い通り。本当にありがとうございます。

これまでの活動

コロナ禍が始まって以来実施している「はちおうじっ子のコロナに負けるな！応援プロジェクト」、2020年度と2021年度は3回ずつ、2022年度は1回、計7回実施してまいりました。延べ1,090世帯、2,124人の子どもたち（15歳以下のみ）へ、食品をお届けしました。これはフードバンク八王子だけでなく、協力団体、いろいろな寄付で応援して下さった市民の皆さま、企業、団体の皆さま、また、助成金という形で支援して下さった財団等の皆さまのおかげで続けることができました。

この春、コロナ禍の一応の収束に動いていますが、物価の高騰により、子育て世帯はまだまだ厳しい状況にある世帯が多いことが、応募コメント、アンケートからも読み取れます。しかし今回も応募件数が減少しました。今後はどのような応援が良いのか、必要な子どもたちに届くのか、フードバンクとして何ができるのかを考えつつ、次の活動につなげていきたいと思っております。

フードバンク八王子は、子どもたちを、子ども食堂を中心とした地域で、いろいろな人と人とのつながりの中で子どもたちが笑顔で育つ社会を目指しています。

今後とも皆さまのご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。